



全国の市町村で唯一「遊」という漢字が入る
「遊」佐町で今しかないこの瞬間を思い切り
楽しんでほしいという想いを込めています。

遊佐高魅力通信

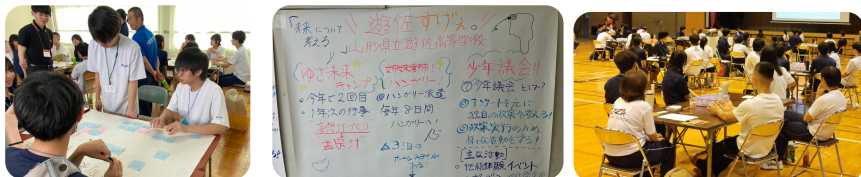
遊ばざる者、学ばべからず！

第36号 2024年 9月

7月25日に開催された小国高校での小規模校サミットでの様子

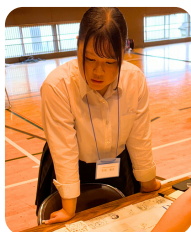
第7回全国小規模校サミット in 小国

7月25日(木)に山形県小国町で開催された全国の小規模高校が集うサミットに参加しました。全国各地の13校113人が参加したこのサミットでは自分の学校・地域の魅力を伝え合う活動や自分たちに何ができるのかを考えるパネルディスカッション、ワークショップが行われました。



小規模高校サミットに参加した生徒の感想

2年生 石田美月(みづき)さん



小規模校は人数が少なく、デメリットが多いように思われがちですが、小規模校だからこそ一人ひとりが活躍しやすい環境がある、ということが一番の学びでした。他校との交流の中で、小規模校の悩みを話しましたが、悩みの内容がみんな似ていて面白く、その悩みをどう解決するかの話もできたのでとても学びになりました。

2年生 今西詩(うた)さん



小規模校サミットの魅力は人との関わりが多くあることだと思います。小規模校サミットでは人の意見を聞いたり話したりし、それについてみんなで深く考えるという場面が多くありました。小規模校同士で話すからこそ、遊佐高校の魅力やシンボリックな物を取り入れたらより良い学校になるんじゃないか、などの学びを沢山得ることが出来ました。

災害ボランティア活動

遊佐高校の生徒をはじめとして、多くの高校生たちがおでこBASE(駅前サードプレイス)を拠点としたボランティア活動に参加しました。8/4からは町のボランティアも始まり、遊佐高の卒業生や小規模校サミットで知り合った小国高校の生徒たちも駆けつけてくれました。



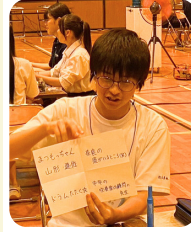
ボランティア参加者へのインタビュー

遊佐高校1年生 森岡皇士郎(こうしろう)さん



ボランティアに参加しようと思ったのは、自分の近くで災害が起こり、何か自分にできることはないかと思ったからです。現地に行くと、自分の首ぐらいまで水が来ていたことが分かり、とても驚きました。遊佐町で災害が起こることはあまりなかったもので、自然災害がものすごく怖いと実感しました。ボランティアを経験して学んだことは、一人で行動してはいけないということです。それは、ボランティア中に怪我をした時に助けを呼べなかったり、二次災害にあたりするからです。なので必ず二人以上で行動するようにしました。

2年生 松本直也さん



少し緊張していましたが、みんなが明るく、優しく接してくれて楽しかったです。遊佐とは異なる取り組みをしていて、いい勉強になりました。また来年も参加してみたいと思いました。俺たち(小規模校)の時代はこれからだ！

ブレイクタイム この人注目

遊佐高生、先生、コーディネーターの3名をそれぞれ月ごとに紹介します。今回は夏の思い出について聞いてみました。

遊佐高校1年生

中川海斗さん



地元千葉に帰省し、中学の友人と夏祭りに行ったのが今年の夏の思い出です。久しぶりに会って、話したりして高校生になったみんなの様子を知れた機会でした

遊佐高校 教員

飯島有紀先生



幕末・明治、開港の歴史を巡ってきました。勉強してから行くより楽しめます。さて、ここはどこでしょう？答え合わせは飯島まで。

コーディネーター

鈴木晴也(せいや)さん



生徒と大学のオープンキャンパスに参加してきました！大学生だけでなく全国から集まる高校生との交流機会にもなりました！

引き続き寮母さん募集中です！

電話：72-4523(遊佐町企画課企画係)

- ・高校生とコミュニケーションが取れる人
 - ・料理を作るのが好きな人 などなど
- 少しでも気になったらお気軽に連絡ください

来ちゃいなよ。
ゆげこう



来ちゃいなよ。
ゆげまち



遊佐高魅力通信とは！？

遊佐高校、遊佐町で過ごす高校生のありのままをお伝えする通信。

生徒たちの日々の活動を

皆さんと一緒に分かち合えたら

嬉しいなあと思いながら発信しています。

お問い合わせはコチラ▼

文責：吉田実、竹内万葉詩
minomountain42@gmail.com
(地域おこし協力隊 吉田)
mayoka.takeuchi@gmail.com
(地域おこし協力隊 竹内)
kikaku@town.yuza.lg.jp
(遊佐町役場 企画課 企画係)